

第47回 二式大艇12型(LS)の巻



今回は大戦中に日本で運用された最大の四発機である二式大型飛行艇です。数年前まで実機が船の科学館に展示されていましたが、残念なことに見る機会に恵まれませんでした。当時世界最高水準の飛行艇であり、単座戦闘機を撃墜するなど日本の技術の結晶とも云うべき飛行機ですが、その大きさ故か模型化の機会には余り恵まれていません。このキット以外にはハセガワの1/72(箱がとても大きい)とスカイウェーブの1/700(後にピットロードより販売されたが現在は生産休止)位しか無かったと記憶しています。このLSの1/144キットでは、随分長い間行き付けの模型店の棚にあったので安心していたところいつの間にか売れていて購入できなかったという、小さい頃お決まりのパターンに泣かれました。後年別のおもちゃ店の閉店セールで偶然見つけ、しかも安かったので「半額か、何と安い3つ買おう」と昔の仇を取るが如く購入(1つは友人に送った筈)、ようやく自分のものになりました。



キットは当時のLSスタンダードである梨地仕上げの表面に繊細な筋彫りが施されており、仕上がりの素晴らしさを想起させるものとなっています。地上設置用の車輪部品が付属する他、サービスパーツとして800kg爆弾と800kg魚雷が2つずつ入っています。そう頻繁に爆撃や雷撃に出たとは思えないでの、同スケールの艦上攻撃機に流用すると良いでしょう。惜しむらくは火星エンジンのモールドが丸坊主状態となっておりますが、発売時期を考えれば仕方無いでしょう。LS倒産後はアリイ(マイクロエース)に金型が移っており、時折生産されているようです(現在の税込価格1050円)。いつも入手できる状態になっていると有り難いのですが。

左はハセガワが1/350雪風の付属品として新規に開発した二式大艇です。ホビーショー限定で発売されたものを買って来てもらいました。透明とグレーのランナーが1枚ずつ、デカールは同じもの2枚が付属して1000円でした。価格も手頃で完成度も申し分ないので、できればコンスタントに販売

して欲しいものです。世界に誇る傑作機を
多くの人に知ってもらいたいので。

キットデータ

メーカー	LS
スケール	1/144
当時価格	700円(税抜)